

# 神崎市地域経済動向調査(1月号)

## ■全国の景況

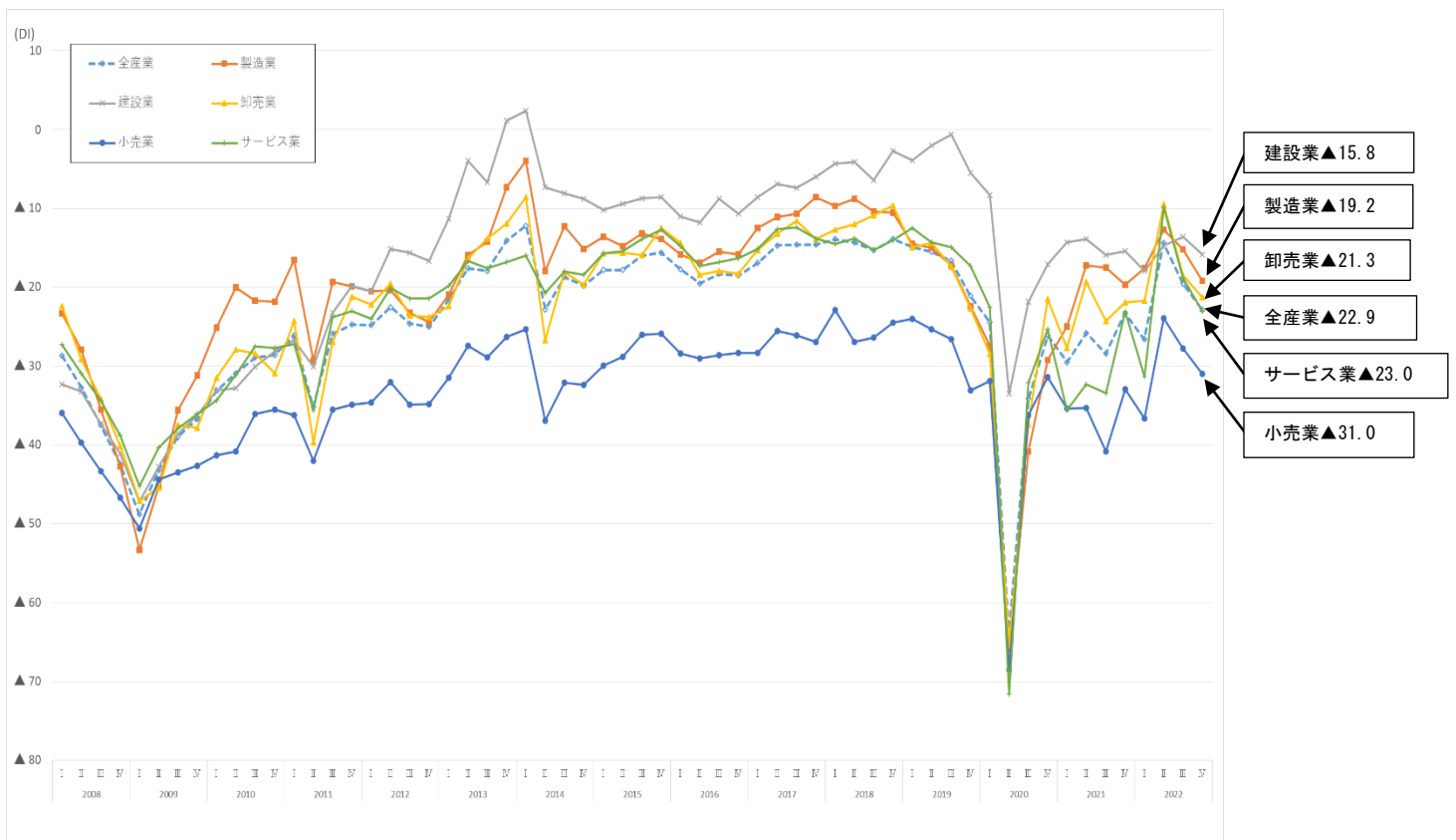
### ◇月例経済報告(R4.12月号より)

#### 『景気は、緩やかに持ち直している』

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
  - ・設備投資は、持ち直している。
  - ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
  - ・生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
  - ・企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。
  - ・雇用情勢は、持ち直している。
  - ・消費者物価は、上昇している。
- 先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染動向に十分注意する必要がある。

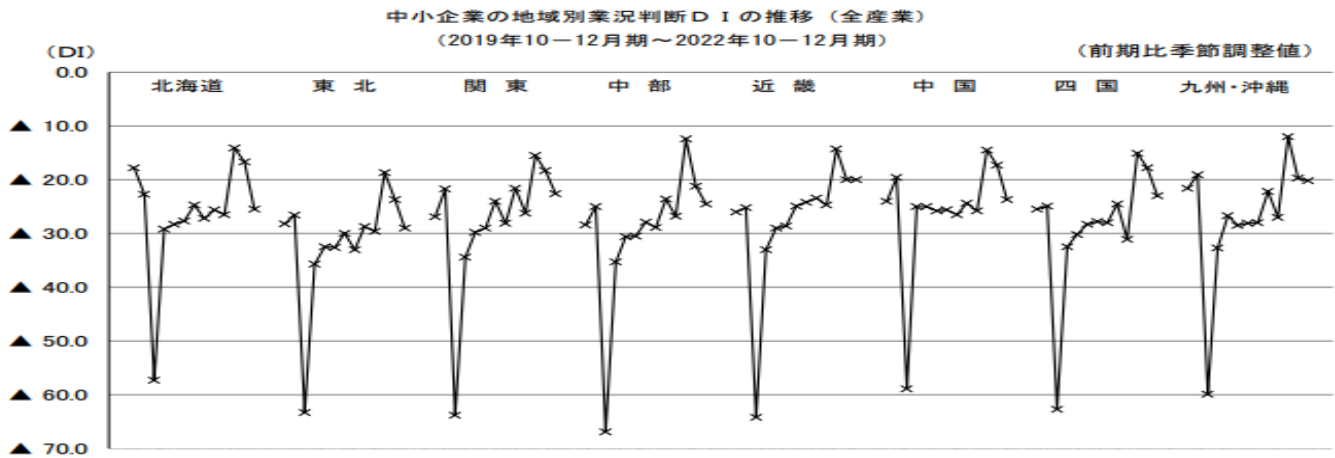
### ◇中小企業景況調査(2022年10~12月期より)

『中小企業の業況判断D Iは、2期連続して低下した』  
 <中小企業の業況判断(2022年10~12月期)>



- ・2022年10～12月期の全産業業況判断DI値は、▲22.9(前期より3.4ポイント減)となり、2期連続して低下した。
- ・業種毎には製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業のすべての業種でポイント減少となっている。

### <地域別業況判断(2022年10～12月期)>



(注) 1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。  
 2. 関東には、新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には、石川、富山の各県、近畿には、福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。

- ・地域別の業況判断では、近畿で横ばいとなり、九州・沖縄をはじめ他の全ての地域でマイナス幅が拡大した。

## ■佐賀県の景況

### ◇佐賀県内経済情勢報告 (R4.11 より)

#### 『県内経済は、持ち直しつつある』

- ・個人消費は、持ち直しつつある。
- ・生産活動は、一部に供給面での制約や原材料価格高騰の影響がみられるものの、持ち直しつつある。
- ・雇用情勢は、持ち直している。
- ・設備投資は、令和4年度は増加見込みとなっている。
- ・企業収益は、令和4年度は増益見込みとなっている。
- ・住宅建設は、前年を下回っている。

### ◇佐賀県主要経済統計速報 (R4.12 より)

佐賀県主要経済統計速報 12月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。

佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(10月)は、全店販売額が4ヵ月連続で上回った。  
乗用車新規登録台数(11月)は、3ヵ月ぶりに下回った。  
新設住宅着工戸数(10月)は、3ヵ月連続で上回った。  
公共工事前払保証請負金額(11月)は、4ヵ月振りに上回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(10月)は、4ヵ月振りに下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(10月)は18ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産件数(11月)は同水準で、負債金額(11月)は5ヵ月振りで下回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(11月)は、34ヵ月連続で上回った。

#### <佐賀県内の参考指数>

項目		対象月	数 値	対前年同月比・ 増 減 分	前月比・増減分	
県内 需要	個人消費	10月	百貨店・スーパー販売額	52億29 百万円	5.5%	7.7%
			全店販売額	—	3.6%	—
	住宅建設	11月	乗用車新規登録台数	2,098 台	△3.0%	5.0%
		10月	新設住宅着工戸数	477 戸	16.9%	9.7%
		11月	公共工事前払保証請負金額	83億53 百万円	31.1%	5.1%
生産	10月	鉱工業生産指数(注)	92.8	△0.8%	2.2%	
雇用	10月	所定外労働時間数指数(事業所規模30人以上)	94.1	△14.3%	—	
	10月	有効求人倍率・就業地別(季節調整済)	1.30 倍	0.02	△0.05	
	10月	有効求人倍率・就業地別(〃)	1.51 倍	0.07	△0.05	
企業 倒産	11月	倒産件数(当月)	1 件	0件	0件	
		〃(累計)	19 件	△1件	—	
		負債金額(当月)	21 百万円	△19百万円	△1億56百万円	
		〃(累計)	28億86 百万円	12億73百万円	—	
物価	10月	消費者物価指数(佐賀市)	102.9	3.4%	0.6%	
金融	11月	金融機関(銀行)貸出残高	1兆4,424 億円	2.2%	0.1%	
人口	12月	推計人口	799,757 人	△5,260人	△381人	
	12月	推計世帯数	317,441 世帯	2,716世帯	87世帯	
景気 動向 指数	10月	先行指数	55.0 %	—	—	
	10月	一致指数	28.6 %	—	—	
	10月	遅行指数	83.3 %	—	—	

## ■神埼市の景況

### 『神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似すると思われる』

#### ◇中小企業景況調査(2022年10～12月期より)

中小企業景況調査より、2022年10～12月期の全産業の業況判断状況は以下のとおりである。

	2022年10～12月期 DI 値
全国	▲22.9
佐賀県	▲23.3
神埼市	▲10.5

- ・2022年10～12月期の佐賀県の全産業の業況判断DIは、▲23.3(前期差0.5ポイント増)で、上昇傾向となっている。
- ・全国DI値は▲22.9で佐賀県DI値とほぼ同等である。
- ・神埼市は、21社分の集計結果であり参考値としてみていただきたいが、DIは▲10.5で、全国値、佐賀県値よりもポイント増となっている。
- ・神埼市での調査数が少ないため、傾向としては神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似するものと思われる。

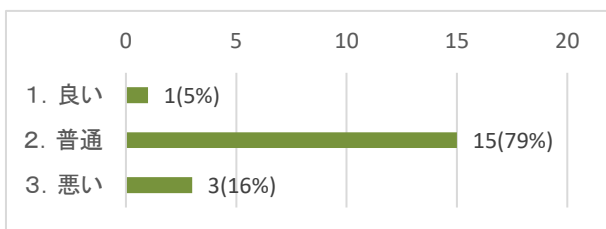
## ◇神崎市での景況調査(2022年10~12月期より)

神崎市内 21 事業所を対象に景気動向、経営上の課題などを聞き取った。調査は令和 4 年 12 月に実施している。調査数が少ないため、参考値としてみていただきたい。

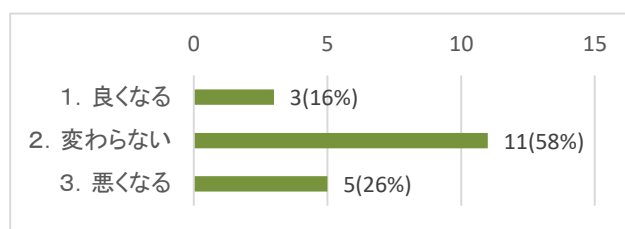
### ○調査数とDI値

	調査数	現状(R4.11)	見通し(R5.2)
全産業	21	▲10.5	▲10.5
製造業	3	▲50.0	▲33.3
建設業	3	0.0	0.0
卸業	3	0.0	33.3
小売業	3	▲33.3	▲50.0
飲食業	3	0.0	▲66.7
サービス業	3	33.3	66.7
その他	3	▲50.0	▲33.3

<現在の景況感(全産業)2022年10月~12月>



<今後の景況感(全産業)2023年1月~3月>

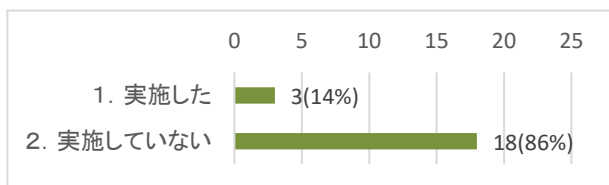


・神崎市での 21 事業所分調査結果では、景況感 DI 値は▲10.5 であり、現在の景況感を「悪い」と評する事業所が「良い」を上回っている。

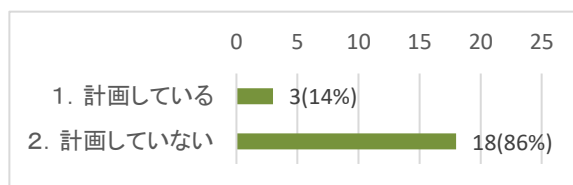
・今後の見通しも、DI 値は 10.5(現状と同値)であり、景気は横ばいで推移していくものと予測されている。

### ○設備投資

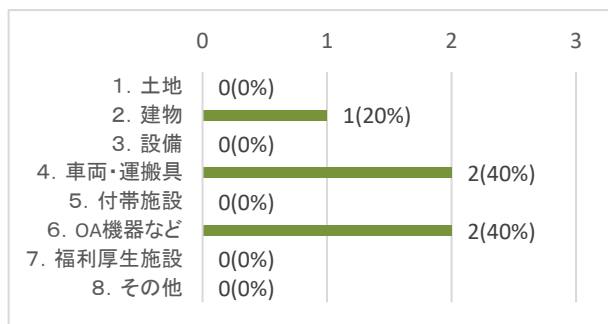
<今期 2022年10月~12月>



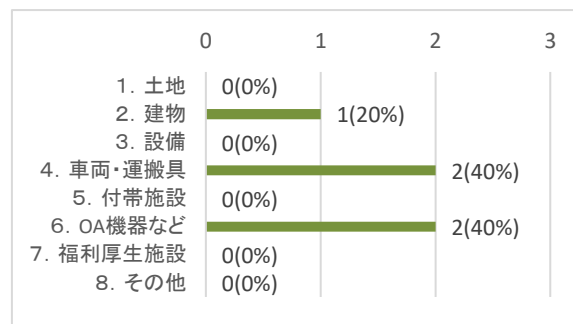
<予定 2023年1月~3月>



<実施した設備投資の内容>



<予定している設備投資の内容>

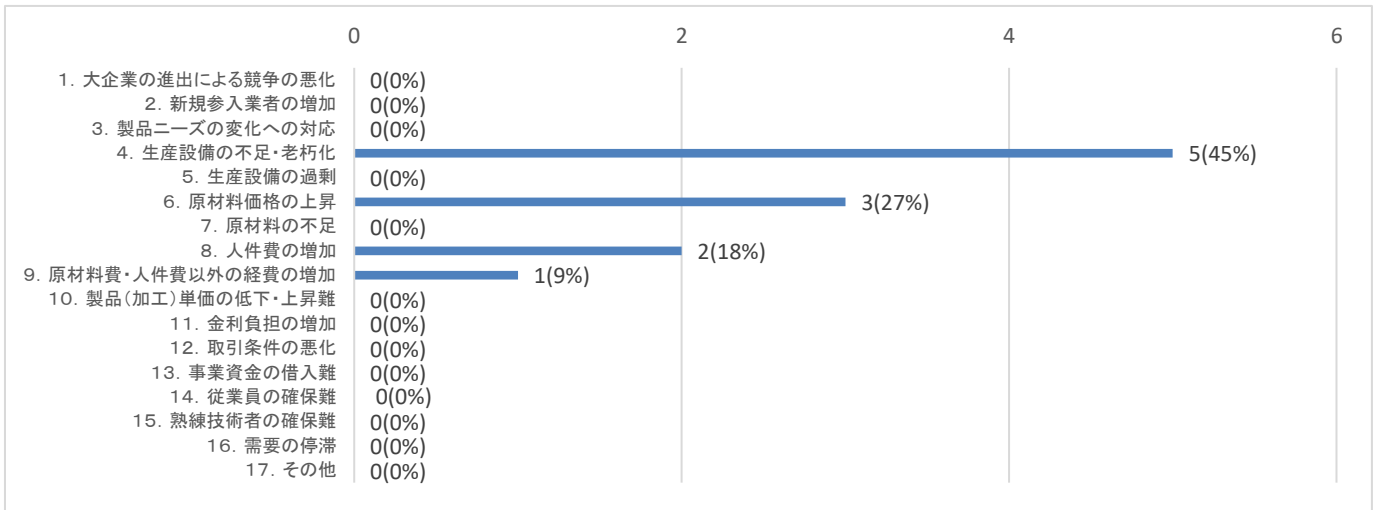


・調査対象事業所のうち 3 社(14%)が設備投資を実施しており、建築、車両・運搬具、OA 機器などへの投資となっている。

・今後は、3 社(14%)が設備投資を予定しており、建築、車両・運搬具、OA 機器などへの投資計画となっている。

## ○経営上の課題

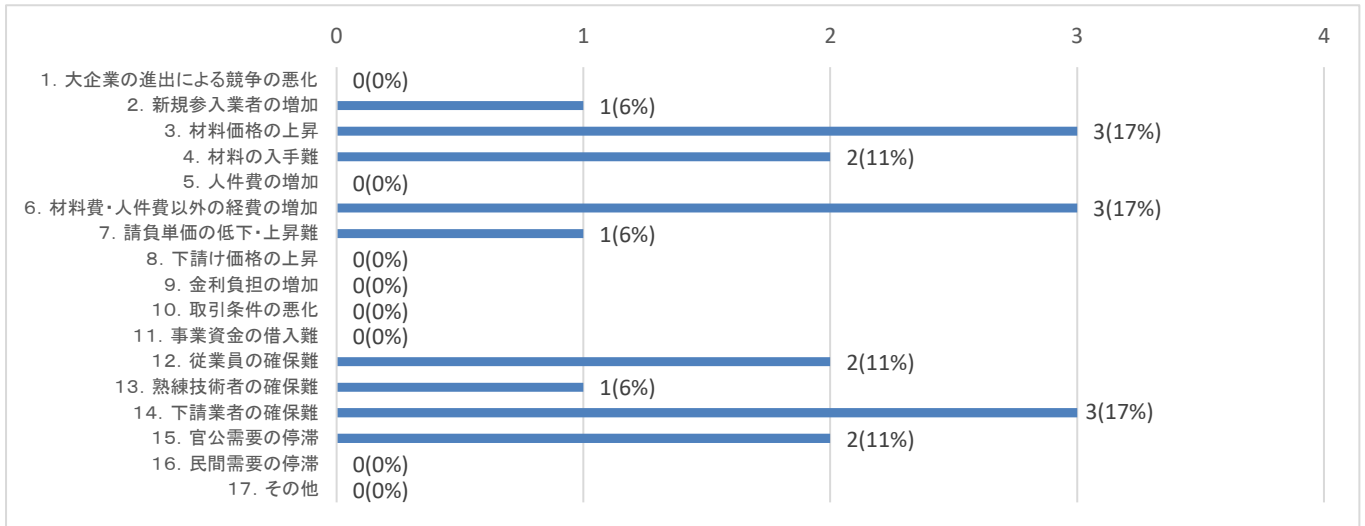
### 【製造業】



※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。以下も同様。

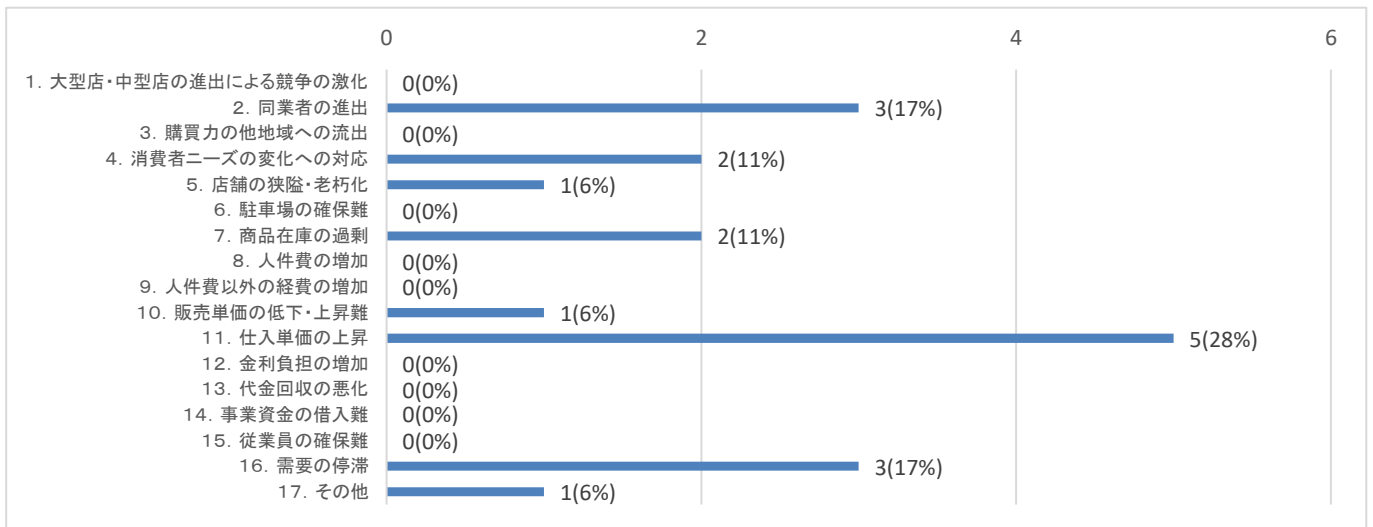
- ・製造業の経営上の課題として、「生産設備の不足・老朽化」、「原材料価格の上昇」が上位となっている。

### 【建設業】



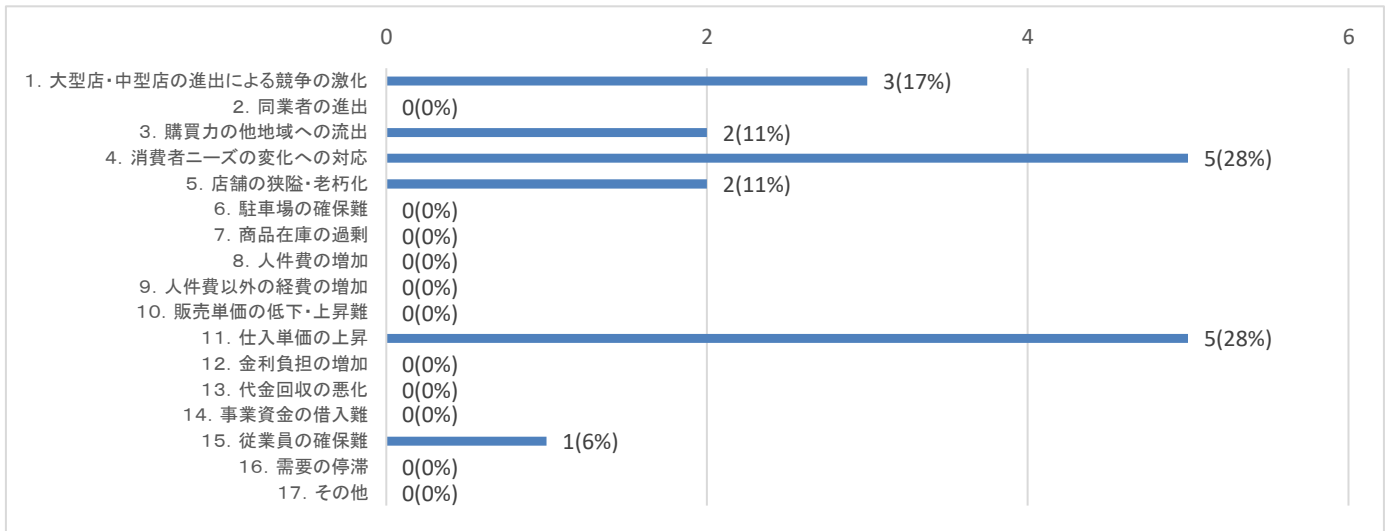
- ・建設業の経営上の課題として、「材料価格の上昇」、「材料費・人件費以外の経費の増加」等が上位となっている。

### 【卸業】



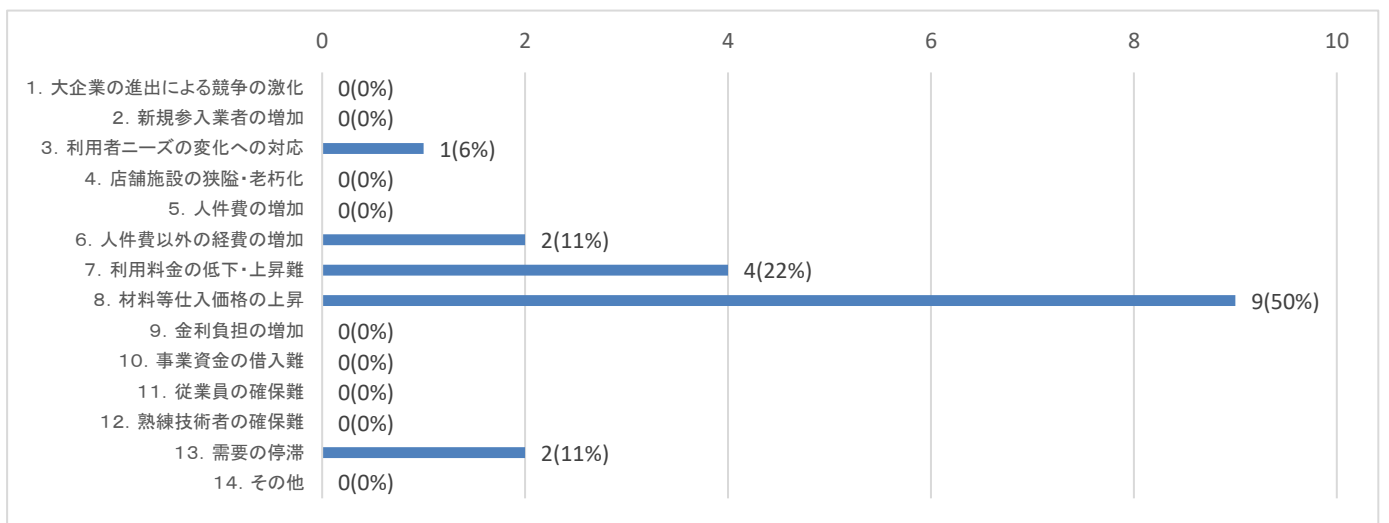
- ・卸業の経営上の課題として、「仕入単価の上昇」、「同業者の進出」、「需要の停滞」が上位となっている。

## 【小売業】



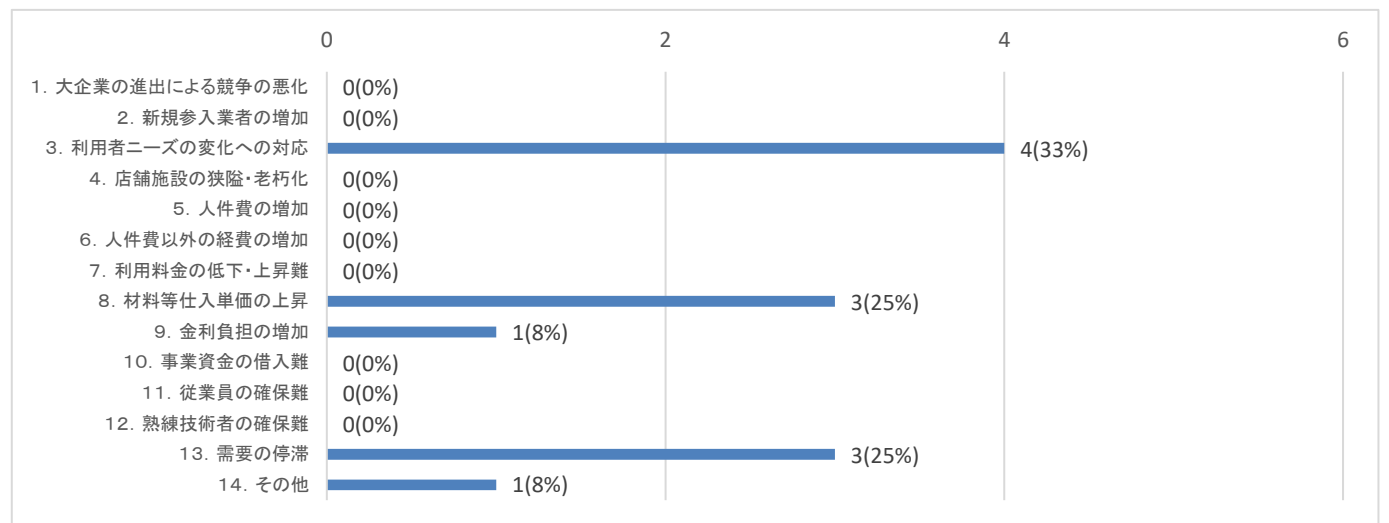
・小売業の経営上の課題として、「消費者ニーズの変化への対応」、「仕入単価の上昇」などが上位となっている。

## 【飲食業】



・飲食業の経営上の課題として、「材料等仕入価格の上昇」、「利用料金の低下・上昇難」が上位となっている。

## 【サービス業】



・サービス業の経営上の課題として、「利用者ニーズの変化への対応」、「材料等仕入単価の上昇」、「需要の停滞」が上位となっている。

## ◇保証月報（佐賀県信用保証協会より）

神埼市内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	2021.11				2022.11			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
神崎市	5	61,500	549	7750,217	3	68,000	541	6,847,543
佐賀県	111	1,036,230	14,308	200,263,743	141	1,549,340	14,161	182,407,949

・2022年11月の神埼市内中小企業の保証承諾件数は3件、金額は68,000千円で、前年同月比より件数は減少しているが、金額は増加となっている。

・保証債務残高は、佐賀県全体、神崎市とも、件数、金額ベースとも減少となっている。